

# 厚木連合戸陵会だより

AGG たつぱりニューボール 1周年記念9/11(金) AGG

**厚木ゴルフガーデン**

代表取締役 藤原玲子(高30) 厚木市中萩野1185  
☎046-241-2882  
http://www.golf-garden.com

戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連合戸陵会) ●発行責任=内田徳孝 ●編集責任=大塚憲二 ●厚木市中町4-12-10 ☎046-223-3458

## 20年度の活動報告、21年度の活動計画共に無事審議終了。

報告者 連合戸陵会会長 内田徳孝(高10回)



総会は7月22日(水)、飯山温泉元湯旅館に於いて開催されました。当日は近藤俊二同窓会長はじめ、荒木高司学校長、花田克雄伊勢原戸陵会長、杉崎秀夫海老名戸陵会長等多数の来賓の方々のご臨席を頂きました。20年

度活動報告は伊藤修治幹事長より説明、決算報告は足立原強会長は実行委員長であります。会場も厚木市文化会館であるため、満場一致で可決されました。

恒例になったゴルフコンペは昨春秋に長竹カントリーで開催

※今年のゴルフコンペは長竹カントリーにて11月18日に開催



## 連合戸陵会総会開催される



県内の新制高等学校及び旧制中学校等の校歌・応援歌の伝承と振興を図ると共に、卒業生と在校生の交流に努める「第4回青春かながわ校歌祭」が、来る10月10日(土)厚木市文化会館で開催されます。今年会場担当として厚高同窓会が、実行委員会の中心となり、円滑な運営が図られるよう準備が進められています。厚高は最後の出場となりますが、校歌と第一応援歌を卒業生と在校生(野球部員他)を併せ100余名が、舞台に大団旗2本を揚げ、堂々大唱和し披露します。出場卒業生の練習会も9月13日(日)に、厚高の中庭で行われますので、参加を期待致します。

昭和の卒業生は、厚高に入学すると間もなく、1週間程度、昼休みに応援団幹部の熱血指導



難波 浩(高11回) 厚高応援団OB会長

**厚木連合戸陵会 広報委員会**

委員長 三平明彦(高14・荻野)  
副委員長 大塚憲二(高18・依知)  
同 池田 清(高19・厚木)  
同 平野亮二(高27・睦合)  
委員 頼住道夫(高22・小鮎)  
同 小島 聡(高33・南毛利)  
同 山口義章(高15・玉川森の里)  
同 小塩恒夫(高22・相川)

※この「厚木連合・戸陵会だより」を制作しているメンバーです。  
※拙い会報誌ですが、4号目が出来ました。より良いものにしていくために、同窓生諸氏、ご父兄の皆様方のご批評・ご意見を賜りたいと思います。  
※発行にあたり広告掲載をして頂いた広告主の皆様へ感謝いたします。ありがとうございます。

# 「第4回青春かながわ校歌祭」に

参加を...

安心・安全・誠実な歯科医療を目指す

**妻田ナンバ歯科医院**

院長 歯学博士 難波勝文(高30回)

診療時間/午前9時~12時30分  
午後2時~7時(土のみ5時30分)

休診日/日・祝祭日

厚木市妻田北1-2-3 妻田郵便局2階

☎0120-78-4180

http://www.namba\_dent.com

望みが沸き、趣きに親しむ、かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

**元湯旅館**

代表取締役 石川範義 (高10回)

神奈川県厚木市飯山4916  
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975  
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL http://www.motoyu.co.jp/

厚木市優良施工店賞受賞  
神奈川県優良水道設備店賞受賞  
神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

**住まいの快適**

**リフォーム 増改築**

株式会社 **小林リビング**

代表取締役社長 小林知弥 (高8回)

厚木市山際570(R129山際交差点際) ☎046-245-3261

学校だより <生徒の動向>

「全高総文」三重大会開催される。本校から新聞部、吹奏楽部、文藝部が出場



厚高新聞部を代表して2名 右/會田美帆さん(2年) 左/渡辺萌香さん(2年)

第33回全国高等学校総合文化祭三重大会(7月29日~8月2日)が開催され、本校からは新聞部、(顧問・吉垣武先生)、吹奏楽部(顧問・中山鉄也先生)、文藝部(顧問・三橋くるみ先生)が出場した。この大会は高校生の文化の祭典で、文化部のインナーハイとも呼ばれている。各都道府県が持ち回りで主管している第1回目は77年に千葉県で開催されている。新聞部門は、120校から450人が参加した。年間を通しての各校の新聞紙面を審査する審査表彰式と、交流新聞づくり

支部会だより

厚木稲門会の今年の講演会は重田辰弥氏による「癒しの島、沖縄と本土」

厚木稲門会は昭和51年、早稲田大学OB会として発足した。当初は厚木高校卒業生中心の会だったが、現在、厚高色はほとんど無くなってきている。約300名の会員は厚木、海老名、座間、綾瀬、愛川、清川の各市町村に在住、あるいは勤務している者、出身者等で、実に広範な高校卒業生が占められている。活動の中でちょっとした特徴は、総会時の「講演会」を一般市民にも呼びかけ参加を求めていることだ。昨年は能楽師、清水寛二氏を招き、「能の魅力について」を講演、多くの市民の参加を得た。最近では、文芸評論家久米勲氏、作家佐光千尋氏、東洋思想家境野悟氏等による講演を行っており、いずれも好評を博している。その他主な活動



ゴルフ会「大山酒祭り」2007.05/27

として、ゴルフ・開幕・お酒を楽しむ会等だ。また、合同懇親会、ゴルフ対抗戦などそれぞれ親交を深めている。さらには、横内謙介氏(高32)が主宰している劇団「扉座」を支援するなどの文化活動も行っている。初代会長は故和田傳氏(中12)、以降前会長は大橋賢三郎氏(中42)、現会長は川鍋健次郎氏(高2)と歴代の会長職は戸陵会の会員が務めている。なお、今年の講演会は沖繩知事から委嘱された「美ら島沖繩大使」の重田辰弥氏により、「癒しの島、沖縄と本土」とのテーマで、10月25日(日)ロワジールホテル厚木で行う。なお、戸陵会会員で未だ未加入の稲門生は是非加入のほどを。厚木稲門会幹事長 古座野隆 090・6195・4016・南毛利戸陵会

六角精児氏(高33回) 遂に映画初主演を果たす!

六角さんは、劇団「扉座」(横内謙介主宰)の俳優であるが、10年前からテレビの人気番組「相棒」に鑑識役で出演している。その鑑識役を主役に仕立てた映画「鑑識・米沢守の事件簿」(東映・長谷部安春監督)に初主演し、話題になっている。3月28日、一般公開の日、海老名市内の映画館の舞台挨拶を終え、厚木市内の居酒屋へ立ち寄った。そこでは彼の快挙(?)に祝杯を上げようと「あつぎシアタープロジェクト」(代表・伊藤修治)の面々が待ち構えていて、彼が到着するや否ややんやわんやの大盛り上がりになった。この10年間、演劇公演後の打ち上げパーティーなどでは決して感じることはなかったが、この日の六角精児氏はスターとしてのオーラに満ち溢れていた。参加者全員がそう感じたのである。ツィショット写真の依頼が後を絶たずサインねだりする



写真・池田清(高19・厚木戸陵会)

大会に出場した。(山梨県小瀬テニスコート)結果は残念ながら1回戦で敗退を喫した。山岳部(顧問・志村重浩先生)は6月に行われた神奈川大会で2位に入り、関東大会出場を決めた。関東大会は11月に茨城県で開催されることになっている。

厚木ゴルフガーデン リニューアル2周年を迎えて

藤原玲子(高30回・荻野戸陵会)



私の家は昔から厚木市荻野にあり、祖父(中10回)、父(中39回)、私と三代にわたり厚木高校の卒業生です。先祖から受け継いだ土地の管理と父が40年まえに開いた厚木ゴルフガーデンというゴルフ練習場を稼業にしております。私もこの地に生まれ育ちましたが、大学卒業後結婚し、旦那の仕事の都合もあり、長らく厚木を離れていました。子育てもひと段落した05年、高齢となった父からゴルフ練習場の仕事を引き継ぎました。当初、気楽に引き継いだものの、会社の状態は芳しくなく、建物はボロボロ、荒れ放題のフィールド、やる気の無い従業員達、まばらな客足、正直なところ廃業も考えました。しかし、大自然に囲まれたこのロケーションは、「もったいない!絶対にイイ!」と、他の練習場には無い強みだと感じ、諦めずに続けることにしました。そして新しく迎えた優秀な支配人と共に、懸命にゴルフ練習場経営を学び、去年9月に設備をリニューアル致しました。システムも変更し、時代のニーズ

厚木グリーン リサイクルセンター
樹木剪定枝・刈草等 受け入れ(一般廃棄物処分場)
厚木グリーン リサイクルセンター
※樹木粉砕チップ加工・堆肥製造販売
株式会社 ヒロコーポレーション 厚木市三田3082-1 TEL.046-242-5420

つるくぼ 耳鼻咽喉科
日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪一行(高26回)
診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

新しいスタッフは芝貼り、樹木の手入れ、ペンキ塗り作業、など地道で大変な作業をこつこつとやってくれています。こういったことが少しずつ実を結び、すべてが良い方向に向かって来ているように思います。リニューアルから1年、小さな努力の積み重ねこそが、未来に繋がるのだという確信をもてた1年でもありました。

後藤祐一君(高39回) 衆議院議員 初当選!
3年前に衆議院補選に民主党から立候補、落選のうき目にあつたが、その間地道な活動の甲斐あつて遂に当選を果たした。同窓生としては甘利明衆議院議員以来とあり国政で活躍する場を得た彼への周囲からの期待は大きい。大いに力を発揮していつてほしいものだ。

# 噛むことは健康への第二步 毎日できるアンチエイジング



難波勝文(高30回、睦合戸陵会)  
社団法人厚木歯科医師会常務理事  
妻田ナンバ歯科医院院長 歯学博士

中高年期以降における口腔環境は、老化や歯を失う事による咀嚼能力の減退・不眠時の安定剤・高血圧時の降圧剤等の内科的疾患の常用薬により唾液分泌量が減少する事に起因して変化してきます。

唾液は、成人では1日あたり約1.2リットル分泌されます。その中には良く知られている消化酵素アミラーゼは勿論の事、殺菌力のあるリゾチーム、ガン予防するペロオキシターゼ等の酵素、パロチンという若返りホルモン等が含まれています。唾液の分泌は噛む事により促進されるので、よく噛めば分泌量が増加し、従って酵素やホルモンが多くなります。

よく噛む事で、他にも次の様な効用があります。

噛むことで咀嚼筋という口の周りの筋肉が動き血管に対してポンプ作用が働く事、筋肉の運動量が増える為に血管が拡張する事・さらに自分の歯で噛む場合は歯ごたえ等の情報を脳に伝達する事のために、脳への血流量が10〜20%増え、脳を活性化し老化防止が期待できます。上の歯の歯を総て失った方は、10本以上自分の歯が残っている方と比較した場合、アルツハイマーになる確率が高いという事はすでに証明されています。

さらには肥満防止や肥満解消になるという事です。早食いは肥満の原因です。食事を始めてから20〜30分かけて血糖値が上昇する為、脳のセンサーが働いて満足の指令を出す前に食事を終えてしまい、食べ過ぎてカロ

リーオーバーとなるわけです。よく噛む事により、食事に時間が掛かり過ぎる抑制になります。では、よく噛むには何が必要かという事です。突き詰めると歯を失わない事です。失った歯を失ったままでは、神経がなくなり歯が腐る為には、神経があり虫歯や歯周病のない健康な歯を沢山残す(神経のない歯は枯れ木と同じで朽ち易く、詰める被せ物でも耐用年数があるためできない歯を削らないほうが長持ちする)事になります。また、既に失ってしまった場合には、失った部分にしっかりと力物強く噛めるような代わりの歯があることです。

歯も他の病気と同じで早期発見、早期治療さらに予防が必要で、まずは、1口最低30回、左右と前で10回ずつ、箸を置いて噛むことから始めてください。

## 誌上特別講座

## 万葉集物語(2)

中村 昭(元九州東海大学教授)



万葉集は雄略天皇の歌から始まります。「龍もよ、み籠持ち...」で歌いだされるこの長歌は、まことに大らかな、堂々たる王者の風格をもつ歌で、開巻第一頁にふさわしいものです。

雄略天皇は実在の人物で、AD471年に、東は埼玉県行田市から、西は熊本県菊水町まで支配していたことが確認された大王です。行田市で発掘された稲荷古墳金象嵌銘に、「ワカタケル(原文漢字)大王」と記された大王で、中国の宋書にも倭王武として出てきます。2番歌はずっと下がって舒明天皇(629〜642)です。これらも歌がいっぱい作られたのか、作者が本心に雄略であるのかどうかもわからない。歌の右側や左側に

つけてある題詞や左注から判断して、巻1は古い編纂の巻だから雄略でないにしても、古い歌だろうと思われていたに過ぎません。ところが、実際に古く書かれたのは、他の巻にある柿本人麻呂の歌で、巻1は大伴家持によって書かれたというのが私の主張です。

人麻呂から家持までは、100余年の歳月が流れています。万葉集はいつ書き始められ、いつ書き終わったのか、つまり、成立と編纂はいつなのかという事は、いろいろな説があつてよくわかっていませんでした。いろいろ資料を整理して各巻を成立させ、それを統一あるものに編纂する、という大仕事を成し遂げたのは誰なのか、という問題は、あまりにも複雑多岐にわたる問題で、わかりにくかつたのです。

私がこの問題に一筋の光明を見出したのは、音仮名率という概念に気がついた時からです。ここに31音の歌があつて、20字

で書かれており、その中に10字の音仮名がある時、音仮名率は20分の10×100で50%です。その音仮名率が作者により、巻によってあまりにも異なつていくからです。

私(中村昭)の勤務する環境科学センターは、大気汚染や水質汚濁などの公害問題を含め、広く環境問題をとり扱っている研究調査機関です。化学分析や水生物学等を専門とする研究者を抱えており、相模川などにおける有害物質流出事故や、光化学スモッグ注意報発令のための常時監視など、さまざまなことに取り組んでいます。また、こうして得られた情報をできるだけ正確に、できるだけ分かりやすく提供するために、ホームページの充実や業績発表会などの開催にも努力しております。

私は技術系事務職として当所の企画・環境教育部門に属してまいり、当時の事業運営を扱うとともに、環境の大切さを知ってもらうため環境学習指導者

この条例では、一定規模以上の事業者・開発事業者・建築物に対して温室効果ガスの削減効果等を記載した計画書の提出の義務づけや、温暖化関連事業の登録制度などを盛り込み、温暖化対策の実効性を上げるようにしています。また、一般県民にも温室効果ガスの削減努力をお願いしています。

私(中村昭)の勤務する環境科学センターは、大気汚染や水質汚濁などの公害問題を含め、広く環境問題をとり扱っている研究調査機関です。化学分析や水生物学等を専門とする研究者を抱えており、相模川などにおける有害物質流出事故や、光化学スモッグ注意報発令のための常時監視など、さまざまなことに取り組んでいます。また、こうして得られた情報をできるだけ正確に、できるだけ分かりやすく提供するために、ホームページの充実や業績発表会などの開催にも努力しております。



睦合戸陵会交流会  
去る7月12日(土)午後6時より厚木商工会議所において、睦合戸陵会(同窓生)交流会が、会員46名出席のもと開催されました。厚高同窓会近藤俊二会長、厚木連合戸陵会内田徳孝会長を来賓として迎え、葉山岳夫顧問の乾杯の音頭で宴会が始まりました。地域別(妻田、三田、林、王子、下川入、棚沢、及川)のテーブルに先輩、後輩が座り、盃を交わし、年代を越えて交流が図られました。また後半には地域別に表面に立ち、一人一人自己紹介をし、職歴や、厚高時代のクラブ活動などについて語られ、

## 同窓会の絆を強める... 睦合戸陵会交流会開催!

睦合戸陵会 平野亮二(高27回) 参加者相互の理解を深めることが出来、また同窓の連帯感、絆を強めることが出来ました。

最後に応援団幹部であった小沢俊通さん(高23回)が第一応援歌、森住照雄さん(高28回)が第二応援歌、難波 浩会長が校歌を指揮し、全員が昔に還り大きな声で斉唱し、盛況のうちに終了いたしました。

**エネルギーをより高い付加価値に昇華するものが、私たちの使命です。**

- 住環境の整備 (コミュニティ開発事業)
- 都市機能の充実 (都市再開発事業)
- 土地を活かす (不動産活用事業)
- 創造のテクノロジー (建設事業)
- 快適な住まい (住宅事業)
- 円滑な住みかえ (仲介事業)
- 都市型空間の提供 (賃貸事業)
- 総合的な安心 (設計・開発・管理・アフターサービス)

代表取締役 杉田泰繁 (高14回)

**SUGITA (株)杉田商事**

厚木市旭町2-1-17中川ビル1階 TEL.046-228-4581 FAX.046-228-6078

内科・循環器内科  
心療内科

**厚木ハートケアクリニック**

http://www.atsugi-heartcare.com

難波 智 (中42回) 院長 循環器専門医  
伴野富佐子(旧姓・難波) (高37回) 副院長

〒243-0203 厚木市下荻野1393-1

〒243-0203 厚木市下荻野1476-1  
ソルローマ本厚木1F  
TEL 046-243-5533  
FAX 046-243-5503

「小鮎・飯山まなび塾」開講!  
小鮎地域の豊かな自然の保護と活用で新たな観光資源の創出、さらに地域活性化方策を検討、魅力ある地域づくりの実施を目指して研究会を始めました。

東京農大の宮田正信氏による、桜の植生と人の暮らしとの結びつきを講義とフィールドワークを通して研究したりするものだ。今年8月から来年3月まで5回5人の講師を予定している。興味ある方は左記迄連絡を。

まなび塾部会長 小島富司 (高18・小鮎戸陵会)

電話&ファクス (高18・小鮎戸陵会)  
046-242-1353

# 活躍する同窓生

(教育界・学界編)

## 大学創立4年目にして文系の偏差値ランキング全国4位！ 理想の大学づくりで燃える勝又美智雄さん。



勝又美智雄(高18回)

大分県別府市生まれ、国際教養大学教授。

72年東京外語大学英米語科卒。日本経済新聞に入り、編集局社会部記者。81年米スタンフォード大学ジャーナリズム研究員。87、90年、ロサンゼルス支局長。その後、営業推進本部国際担当部長、編集委員などを歴任。04年日経新聞退社。秋田に開学の公立大学法人国際教養大学教授(北米研究、日米関係論)就任。現在、同大学図書館長、広報委員長も努める。公職に、財団法人大学セミナーハウス評議員、財団法人日本

語教育振興協会評議員他多数。著書に「権力の驕りに抗して、フルブライト元上院議員の「私の履歴書」(日本経済新聞、91年、増補文庫版、02年)。ニコラス・バラン著「報スパーハイウェイの衝撃」(日本経済新聞社、94年、秋田市在住。E-mail:katunata@aia.ac.jp)

### 国際教養大学

新構想大学の挑戦と成果  
日本経済新聞社で32年間、記者生活をしたあと、04年春、秋田に開学した公立大学法人、国際教養大学(AIU)の教授となった。中島雄雄学長は私が東大生だった時からの恩師で、私はその補佐役として02年から丸2年間、大学の身づくりから参加していた。

う危機感から「日本一優れた理想的な大学づくり」を目指した。そうしてできた大学は、あらゆる面で「日本初」だらけとなった。まず全国初の公立大学法人にして、教職員は3年任期で年俸制にした。1、教育・学生指導、2、研究業績、3、地域貢献活動、4、学内業務への協力度の4分野で毎年細かく評価し、低い評価の者は退職してもらう。「良貨が悪貨を駆逐する」体制をつくった。この結果、年々、世界中から優れた教員を採用できて、現在正教員60人の過半数が外国人だ。授業はすべて英語で講義し、音楽、美術、茶道、華道、体育も英語で行っている。国際教養学部は文学部でも英文科でもなく、全学生は数学が必修で、物理と化学のどちらか必修になっている。しかも全員に1年間の留学を義務付けている。留学先は単位互換で提携している大学で、世界中29カ国91大学ある。

## 微生物研究を経て情報通信の専門家へ。さらに文学部教授へ。長塚 隆さん



長塚 隆(高18回)

厚木市出身。鶴見大学文学部部長、東北大学大学院博士課程修了(農学博士)。04年より鶴見大学文学部に新設のドキュメンテーション学科で情報学を担当。微生物の研究を経て、82年から紀伊國屋書店で海外

この話を伺って、高校に通学していた頃のことを思い出して、自分にとっては行く先が定まらず、大学に進学するかも含めて、色々なことを考えていた。試行錯誤の時期であったのですが、よき師と友人に恵まれたことで、今の自分があろうかと思っています。現在は、横浜にある鶴見大学文学部のドキュメンテーション学科で情報学を教えています。高校から接続している高等教育機関である大学は、少子化や社会の情報化などの波を受けて、様々な面で変わって来られています。入学してくる高校生も、従来よりも学力の面で、あるいは興味や関心が多様になってきています。大学と高校とのより緊密な連携が、

将来を担う若い人材を育成してゆくの欠かせない時代になったと感じています。大学に入学してくる新入生を見ていると、現在の社会が抱えている多くの課題が透けて見えるように思います。昨年から金融危機により、家庭が経済的な困難を抱えて学業を続けるのが難しくなってきた学生、他の学生や教師とコミュニケーションをとるのが困難な学生、家計を助けるためにアルバイトに時間を割かざるを得ない学生など、今の大学生は、学業を継続するうえで様々な問題を抱えていることが多いです。いままさ、個人で出来ることは、それほど多くはないのですが、大学に籍を置くものとして、高校と連携しながら、若い人が大学で学ぶための状況を改善することに役立てばと思っています。

## 著書は200冊を超し、マスコミでも大奮闘の社会心理学者、渋谷昌三さん。



渋谷昌三(高17回)

厚木市出身、白百合大学大学院心理学研究科、社会情報心理学教授。

東京都立大学大学院心理学専攻、博士課程修了。文学博士、山梨医科大学(現山梨大学)教授を経て、現職。主な著書「誤解だらけの夫婦の心理学」(08年河出書房新社)、「リーダーシップのある人、ない人」(03年PHP研究所)と人との快適距離「パーソナルスペースとは何か」(90年日本放送出版協会)など。心理学関連の書籍(200冊)を超す。E-mail:shibuya@meio.ac.jp

医学部学生(医学科、看護学科)の教育に約20年ほど、その後、心理学研究科などで臨床心理、臨床発達心理士、産業カウンセラーなどを担う学生に携わっている。また、大学教授のかたわら書籍や雑誌の

執筆、テレビや新聞などのマスコミ活動にも関与している。子供たちが生まれた年代に刊行された拙著が現在も何冊か増刷されており、書籍類の持つ力を改めて実感する昨今である。かつて、スクールカウンセラーや子育て支援セミナー相談員などを通じてさまざまな地域での社会活動を行ってきた。問題行動を引き起こす子供とその親たちとの面談を通して感じるのは、今時の流行り言葉を採用すると、夫婦力が欠如しているケースが多々あった。夫婦力とは夫婦関係を良好な状態に保つだけでなく、子供の心身を育て上げる基礎体力でもある。父・母・子によるトライアングルのバランスが崩れると、弱くも弱く子供にその悪影響が顕在化する。逆に、子供の問題を解決するためには、夫婦力を改善したり、強化したりする支援が必要になる。こうした事例は、近年、シングル家庭や子連れ再婚によるステップファミリーなどが増加しており、家族関係のあり方を再考させられる。心理学がこのような現代的諸問題にどこまで通用するのか、今後の展開が楽しみである。

## 超高齢化社会を見据えて衣服の研究を続けてきている学術博士。大塚美智子さん。



大塚 美智子(高24回)

海老名市出身。日本女子大学家政学部教授。

80年3月お茶の水女子大学大学院家政学研究所修了、博士(学術)。

公職：日本衣料管理協会専門委員、主任、JIS改正原案作成委員、日本家政学会被服構成学支部運営委員、日本家政学会関東支部監査、日本繊維製品消費科学会評議員など。

著書：「新版家政学事典」朝倉書店、「新版家政学実習」建邦社、「衣生活の科学」アイ・ケイ・コーポレーション、「繊維便覧」丸善、「衣生活学」シリーズ生活科学「朝倉書店」家政学実習「建邦社」。

子どものころから関心を持ち続けてきたファッションの世界を、教

育界から見つめて続けてまいりました。人は心身にフィットし、生活の安全安心につながる機能を持ち、自身の嗜好に合う衣類を着用することで、生理的快適性と精神的快適性を得ることが出来ます。私はこの衣類の持つ力を社会に生かして行きたいと考えています。現在の主な研究課題は高齢社会を見据えた衣服の研究です。例えば、企業とともにパンツ型紙おむつの研究開発を手がけてきましたが、おむつの着用は人の尊厳に関わり、その不快は人間生活における重要な問題です。排泄物を漏らさずかつ快適に、高度な機能が求められるおむつの開発はメーカー各社で日夜浸きを削っています。おむつも衣服も不特定多数の人を対象とするものではありますが、人体構造と向き合い、より多くの人にフィットさせるための共通項を見出し、開発する必要があります。こうした発想で開発した大人用パンツ型紙おむつは、装着時の体勢が安定し、転倒防止につながるということが評価されました。乳幼児の体型にフィットさせ、締め付けを軽減させたパンツ型紙おむつは、08年度グッドデザイン賞を受

## 厚生労働省の官僚から筑波大学教授へ転進。江口隆裕さん



江口 隆裕(高23回)

筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授。

昭和46年、厚木高校を卒業し、北海道大学入学。昭和52年、同大学法学部を卒業し、厚生省入省。昭和54年から1年間、フランスに派遣。その後、環境庁、厚生省保険局、年金局を経て、昭和62年から石川県高齢者対策課長、民生課長、総務部地方課長、平成3年から2年間、母体の北海道大学法学部に助教として出向。その後厚生省に戻り、大臣官房政策課調査室長、老人保健福祉局老人福祉振興課長、生活衛生局水道環境部計画課長、環境省廃棄物・リサイクル対策部企

画課長などを経て、現職。現在、神奈川県相模原市在住。連絡先:eguchi@post.keio.ac.jp

いつも、こうした生活に密着した研究に張り合いを持って取り組んでいます。現在の活動状況等

## 21世紀臨調の主査として政治改革、マニフェスト導入などにも中心的役割を果たし続ける曾根泰教教授



曾根泰教(高18回)

厚木市出身。慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授。

慶応義塾大学大学院政治学博士課程修了。現在、公職、新しい日本をつくる国民会議(21世紀臨調)主査。著書：「日本の民主主義」(共編著、2008年)、「日本ガバナンス」(東信堂、2008年)他多数。

大学では、政治学と政策分析を教えています。具体的な政策領域は、経済政策から医療政策まで多岐にわたりますが、主として、政策決定の過程が専門です。また、「新しい日本をつくる国民会議」(通称、21世紀

臨調)が、また民間臨調といっていた1990年ごろから政治改革に関わり、選挙制度、政治主導の政治改革、マニフェスト導入などを行ってきました。特に、マニフェスト導入では、その理論化を計ってきました。日本だけでなく、韓国への導入のきっかけをつくりました。マスコミへの発言や党首討論の司会などでお目にかかったことがあるかもしれません。専門の研究では、政策と共にさまざまな制度設計に関わることで、政策決定過程の変化に注目した研究を進めています。

